北海商科大学　講義概要（シラバス）

2026年度

科目名	異文化ゼミナール	科目コード	1152	単位数	2
担当者名	保坂　智	開講セメスター	第2セメスター	開講年次	1年次
授業の方法	講義	到達目標	B	実務経験	無
ナンバリング	BSe202	※DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

授業のねらい

韓国や台湾の文化については語れても、歴史問題を含む政治については語れない日本人は多い。そもそも知識が不足していることがほとんどである。そのため、今年度は『日本の植民地支配－肯定・賛美論を検証する』を用いて基礎知識を身に付けつつ、各国と未来に向けた国際関係について日本人として主張や議論ができるようになってもらいたい。

到達目標

・日本とアジア各国との歴史的関係を説明できる
・賛否両論をおさえた議論ができる
・レジュメ作りやプレゼンテーションスキルを修得する

授業内容

1週目 ガイダンス
2週目 台湾映画『セデック・バレ』一部鑑賞・議論
3週目 『日本の植民地支配－肯定・賛美論を検証する』Q1・2　担当者レジュメ作成・発表・討論
4週目 『日本の植民地支配－肯定・賛美論を検証する』Q3・4　担当者レジュメ作成・発表・討論
5週目 『日本の植民地支配－肯定・賛美論を検証する』Q5・6　担当者レジュメ作成・発表・討論
6週目 『日本の植民地支配－肯定・賛美論を検証する』Q7・8　担当者レジュメ作成・発表・討論
7週目 『日本の植民地支配－肯定・賛美論を検証する』Q9・10　担当者レジュメ作成・発表・討論
8週目 『日本の植民地支配－肯定・賛美論を検証する』Q11・12　担当者レジュメ作成・発表・討論
9週目 『日本の植民地支配－肯定・賛美論を検証する』Q13・14　担当者レジュメ作成・発表・討論
10週目 『日本の植民地支配－肯定・賛美論を検証する』Q15・16　担当者レジュメ作成・発表・討論
11週目 『日本の植民地支配－肯定・賛美論を検証する』Q17・18　担当者レジュメ作成・発表・討論
12週目 『日本の植民地支配－肯定・賛美論を検証する』Q19・20　担当者レジュメ作成・発表・討論
13週目 『日本の植民地支配－肯定・賛美論を検証する』レポート作成
14週目 韓国映画『お嬢さん』鑑賞・議論
15週目 『日本の植民地支配－肯定・賛美論を検証する』レポート発表会
16週目 課題に対するフィードバックを実施。但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施できなかった場合は、補講を行う。

準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

（予習）担当者は資料作成し人数分コピーしておくこと。（180分）担当者以外は対象の範囲を必ず読んで、気になった表現等を調べておくこと。また、自分の解釈や意見を述べて、活発なディスカッションをできる準備を整えておくこと。（90分）
（復習）復習し疑問点を確認し、レポートに備えておく。（30分）

成績評価の方法・基準

発表資料の作り方、発表のわかりやすさ、疑問点の適切さ、レポートのできとともに、毎時間の質問等の発言を加味する。担当箇所の発表30%、レポート30%、ゼミナール中の発言や参加態度40%。

履修上の留意点

授業の性質上必ず出席することはもとより、レポーターに積極的に質問をし、討議を活性化させることを期待する。ゼミナールという性質上、4回欠席した場合は評価しない。

課題に対するフィードバックの方法

発表、発表資料、レポートにコメントをつけてフィードバックを行う。

テキスト

水野直樹ら編『日本の植民地支配－肯定・賛美論を検証する』（岩波ブックレット552、2001年）、627円（税込）
ISBN978-4-00-009252-4

参考書

適宜紹介する。

更新日付

2026/01/26 02:22